

この状況が解消するまでは…いや、コロナが去った時代には、『オンライン』の時代が到来している可能性も大です。むしろ『オンライン』が主流になっている可能性さえもあります。これからの若い人達とはかく、これまでインターネットを必要としなかった時代を生きてこられた方にとつては、なんだか虚しいような寂しいような気持ちも拭えませぬね。真成寺の『オンライン法要』に関しても、あくまでご提案の一つとして知っておいて頂ければと思います。実際これまで『オンライン』をご希望された方というのは、真成寺に足を運べない状況の方ばかりです。例えば県外の方や自宅にいて移動手段が無い方などです。それでも喜んでくださる、そんな感謝の言葉を伺う度に、「場合によっては『オンライン』でも、祈りを届ける法要を執り行つていこう」という決意が固まるのも事実です。

●【私の使命って何?】
「使命」とは読んで字の如く「命を使う」ということですね。また、この「使命」と似ている言葉として「運命」や「宿命」、あるいは「天命」という言葉もあります。これらには色々な解釈があります。ここで一つずつ解説したいところですが、紙幅の関係上、当欄では「使命」に焦点を当てて考えてみたいと思います。

いずれにしても共通しているのは「命」という文字です。では、そもそも「命」とは何か?言わずもがなですが、親先祖から代々受け継がれてきたのが私達の「命」です。その尊い、「命」を何に使うのか?これを考え、自分なりの解釈を見出し、今という時を豊かに過ごすことは私達にとつて、人生を歩む上で何よりも大切な事ではないだろうかと思えます。もし仮に「使命」を考えなければ、当然「使命」に気付くことも出来ませんし、生きる意味さえも見出すことは難しいと言つても過言ではないと思えます。

「使命」を一言で言うならば、生きていく間に果たさなければならぬ仕事、と言えらるかと思えます。与えられた環境の中で、何をすれば幸せを感じられるのか?何をするのが自分の人生にとつて正解なのか?そうしたことを考えて、行動することで見出すのが「使命」。つまり使命とは、その人が生まれた意味でもあります。使命を考える事が、自分の生きる意味を見つけることに繋がってきます。

では、人生の使命と大きな視点で考えた時には、命を懸けて行う今生での役割と言えるでしょう。

仏教では、生きとし生けるものには『仏性(ぶつしょう)』が宿っていると説かれます。仏性とは、私達が人生で遭遇する苦悩に煩(まど)わされることなく、また周りの人達の苦しみを救つていける力です。仏性に気付き、目を開いたならば、自分のみならず、周囲を支える力にも恵まれますよと、仏教では教えられています。

仏性と似ているものには『明德(めいどく)』という言葉もありますが、『大学』という書物にもありますが「大いなる学問の道は、天から授かったと苦を明らかにすることが目的である。さらに、自分の人徳を高めるだけでなく、周りの人々を教導して道徳的な進歩を後押ししなければならぬ。そして、その最高の善を常に継続し続けることにこそある」と教えられます。

さあ前置きが長くなりましたが、私にとつての「使命」は、悩める目の前の人に寄り添い、癒し、そして「あなたにしかできないことがある」ということを、お伝えし、その人の『使命』に気付かせのお手伝いをさせて頂くのが、私の『使命』です。

仏教の生命観に『慈愛(じあい)』という言葉があります。この「慈愛」というのは、親が子供を慈しみ、かわいがるような、深い愛情のことです。

私は日蓮宗真成寺の僧侶として、慈愛の気持ちで根底に持ち、その人に宿る仏性を開花させるお手伝いをし、また心に宿る明德を磨く事で、安心安全で豊かな人生を歩める世の中を目指して、私の『使命』を全うしたいと思えます。

これからの時代に合わせて『オンライン』でも、『オフライン』でも、皆さまと繋がりたい、本当に大切なことに気づき合っていきたいと思えます。

合掌 副住職 谷川寛敬



▶ YouTubeチャンネル

『谷川寛敬』。

「チャンネル登録」& 「高評価」

よろしくお願いします

ユーチューブ (YouTube) 『寛敬の部屋』を配信中です。

左記のQRコードからも入れます。



皆さまから届いたリクエストや、ご質問などにも、お答えしていきます。ユーチューブチャンネル

『寛敬の部屋』

ご視聴よろしくお願いします。